

1 国語に関する調査

【特長】

- 文章の中で、漢字の使い方を理解し、送り仮名に気を付けて、書き直したものの中から適切な漢字を選択することができる。
- 目的を意識して、資料を活用し、中心となる語や文を見付けて、メモに当てはまる内容を選択することができる。

【課題】

- 文章の中で、ひらがなを漢字に直す問題では、正答を選択することはできるが、自分で漢字に直すことに課題がある。覚えた漢字を使えるようにする取り組みが必要である。
- 記述式の問題では、文章を読んで理解したことに基づき、条件に合わせて自分の考えをまとめて書くことに課題がある。

2 算数に関する調査

【特長】

- 問題文を読み、椅子の数を求めるために、一の位が0の二つの2位数について、正しく乗法の計算をすることができる。
- 運動した時間の合計が30分以上である日数を求める問題では、「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる。

【課題】

- テープを切って開いた三角形を正三角形にするために、一つの角の大きさを何度にするかよいかを問う問題では、角の大きさを求めることはできていたが、資料からテープを開く前の大きさを問われていることに気付かず、正答した児童の割合が低い。
- 台形の意味や性質についての理解に課題があり、四角形の分類などの、意味や性質を基に説明できるような学習が必要である。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- いじめはいけないことだという意識が高く、人が困っているときは進んで助けようとしている児童の割合が高い。
- 地域の行事に参加している児童が多く、地域や社会をよりよくするために何かしたい、人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合が高い。

【課題】

- 学校の授業以外や休みの日に学習する時間が少なく、全くしない児童も見られる。家庭での学習ができるような工夫が必要である。
- 読書が好きだと回答する児童の割合や新聞を読む児童の割合が低い。活字離れが進んでいるので、学校図書館を活用して読書に親しむ時間を増やす必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 一人ひとりに自信を持たせるため、よいところを認め、できないところについては一緒に考え、児童に寄り添いながら、自己肯定感が高まるように支援を継続していく。
- たてわり班活動で異学年交流をする中で、高学年としてのリーダーシップを身に付けたり、お互いを知り、認め合ったりできる小規模校のよさを生かしていく。
- 授業研究を通して、児童が学習の中で自分の考えをもち、伝え合えるように、めあてを明確にしてよりよい授業を工夫していく。
- 読書に親しむ時間を増やすため、読書タイムを設けたり、読書週間を設定したりして、学校図書館に行って本に触れる機会を増やすようにする。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- インターネットやゲーム、スマートフォンを利用する際には、内容や利用時間など、ルールを決めて、生活リズムの乱れや犯罪被害に発展しないように留意してください。
- 自らやってみようとする子を育てるため、地域やご家庭で、子ども達が活躍できる場を設け、挑戦する機会が増えるようにご協力をお願いします。
- ご家庭で学習する時間の確保と、学習できる環境づくりを心がけ、子ども達が進んで学習に取り組めるよう見守り、励ましの言葉かけをお願いします。